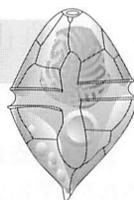




## 会員のページ

このコーナーでは、会員の皆さんの役に立つ情報の提供をおこないたいと思います。このコーナーに掲載ご希望の方は編集委員長まで。



### 海藻ビデオ頒布のお知らせとお願い

藻類学会企画委員会では、学会有志者のご協力を得て、一般向けの藻類啓蒙ビデオを作っています。去る3月に第一作目の「海苔 (のり)」を、10月に第二作目の「寒天 (かんてん)」を作りました。いずれも授業や集会の場などで気楽に使っていただけるように、極力わかりやすく、親しみやすいように工夫しました。



海苔の栽培

私たちは、日常の食卓で、加工された海藻に出会いますが、それが海でどのように育ち、収穫され、そして加工されて食卓にとどくのか、ほとんど知りません。本ビデオでは、そのような過程を、そこに働く人々の姿を交えながら映像で解説し、「藻類」を身近なものとして理解してもらうように務めました。制作費の限界から、目標とする出来映えには至りませんでした。手作りの努力をかって下さる諸氏からは好評を得ています。

このたび、下記の要領で両ビデオを頒布いたしますので、是非ご利用下さいますようお願いいたします。売上金は、日本藻類学会に全額寄付いたしますので、学会誌の後援金としてご協力お願いいたします。

1. 「海苔 (のり)」 (15分)
2. 「寒天 (かんてん)」 (15分)

各々個別売り：VHS 2,000円, S-VHS 2,500円

同一テープに収録する場合は、VHS 3,500円, S-VHS 4,500円

送料別

公費の場合はお問い合わせください

#### 申込先：

184-8501 東京都小金井市貫井北町 4-1-1

東京学芸大学生物学科 片山研究室内

日本藻類学会企画委員会

Fax: 0423-29-7518

E-mail: katayama@u-gakugei.ac.jp

#### 問い合わせ：

石川依久子

Tel: 0543-66-9211 (MBI)

Fax: 0543-66-9256 (MBI)

Tel & Fax: 0424-89-3189 (自宅)



テングサの収穫

日本藻類学会企画委員会

石川依久子

## 公募

### 東京薬科大学生命科学部教員公募

募集人員：教授または助教授 1 名

専門分野：生態学など、巨視的な視点から生命科学の研究を行い、英語教育も担当できる方。

応募資格：博士の学位を有する方、またはそれに準ずる方で、年齢は55才位までが望ましい。

着任時期：1999年4月（予定）

提出書類：(1)履歴書（写真貼付）、(2)研究業績リスト、(3)主要研究業績の別刷りまたはコピー（10編以内）、(4)現在までの研究概要（2000字以内）、(5)今後の研究計画（1000字以内）、(6)教育に関する理念と抱負（1000字以内）、(7)推薦状2通または本人について所見を求め得る方2名の連絡先。

書類は英文も可、その場合は指定された和文におおよそ相当する長さとする。

書類送付先：〒192-0392 東京都八王子市堀之内 1432-1 東京薬科大学生命科学部長 大島泰郎

（応募書類在中と朱書き簡易書留にて郵送のこと）

応募期限：1999年1月30日（土）（当日消印可）

問い合わせ先：環境分子生物学研究室 山形秀夫

Tel. 0426-76-7053, Fax. 0426-76-7081

E-mail: yamagata@ls.toyaku.ac.jp

## 訂正

「藻類」46巻2号掲載論文「褐藻ナガコンブの光合成—温度特性について」（坂西・飯泉）に次の訂正があります。

105 ページ 左のカラム 13 行目

（誤）「の起点となっている一方で、藻体自体が重要な漁獲・・・」

（正）「の起点となっている一方で、重要な漁獲・・・」

## 締切日について

会員のページ（公募、各地の催し物のお知らせ、藻類グッズの販売など）、学会シンポジウム情報、書評・新刊紹介などのコーナーでは会員の皆さんからの積極的な情報提供・投稿を歓迎いたします。掲載号とそれぞれ直前の締切は以下のような関係になっていますので、投稿される際にはご注意ください。また、書評・新刊紹介の場合には、重複を避けるために原稿執筆の前にはあらかじめ編集委員長宛お申し出ください。

掲載号	原稿締切
1号（3月号）	1月末日
2号（7月号）	5月末日
3号（11月号）	9月末日

原稿の長さによっては、締切を多少過ぎていても掲載可能な場合もありますので、まずは編集委員長にご相談ください。また、投稿に際しては「投稿案内」（46(2)に掲載）をご確認の上、それに従った形式でお願いいたします。

## 1. 国際植物分類学連合との雑誌認定協定の締結

2000年1月1日から国際植物命名規約のもとに実施される新学名，新組合せの登録制度に関し，Phycological Researchをその認定雑誌とすることの協定を8月4日に結んだ。これにより，Phycological Research誌上で協定に合致する方法で発表した新学名，新組合せは会員個人が登録することなく，国際植物分類学連合に登録されることになる。詳しくは本誌227頁を参照されたい。

## 2. 選挙結果について

1999年1月1日から2000年12月31日を任期とする次期会長・評議員の選挙が8月3日～9月4日の期間おこなわれた。9月10日に，本会の片山舒康会員，高亜輝会員の立ち会いのもと東京学芸大学生物学教室N112室において開票がおこなわれた。結果は以下のとおりである。

【会長選挙】堀 輝三（当選）；井上 勲・増田道夫（2位得票数：同票数）

次点者は持廻り評議員会の決定に従い，学会事務局が厳正なる抽選を行った結果増田会員となった。

## 【評議員選挙】

北海道地区 (2) 堀口健雄（当選）・市村輝宜（当選）；山本弘敏（次点）

東北地区 (1) 原 慶明（当選）；谷口和也（次点）

関東地区 (3) 井上 勲（当選）・吉崎 誠（当選）・白岩善博（当選）；出井雅彦（次点）

東京地区 (2) 有賀祐勝（当選）・真山茂樹（当選）；田中次郎（次点）

中部地区 (3) 前川行幸（当選）・嵯峨直恒（当選）・横浜康継（当選）；渡辺 信（次点）

近畿地区 (2) 鯉坂哲朗（当選）・中原紘之（当選）；榎本幸人（次点）

中国・四国地区 (2) 大野正夫（当選）・大谷修司（当選）；寺脇利信（次点）

九州地区 (2) 川口栄男（当選）・四井敏雄（当選）；飯間雅文（次点）

住所変更・勤務先変更・電話番号変更

会 員 異 動

名簿（平成10年版）の訂正

訃 報

本会会員 田澤伸雄氏は去る1998年9月4日逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。

日本藻類学会